

第一種使用規程の承認に係る申請案件の審査状況

1 ご審査いただく案件

名 称 【申請者】	使用等の内容	検討状況		承認の状況			
		農作物 分科会	総合 検討会	カルタヘナ法		食品衛生法 又は飼料安全法	
				隔離ほ場	一般利用	食品	飼料
1 チョウ目害虫抵抗性トウモロコシ (<i>ipd083Cb.1</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Ittis) (COR121, OECD UI: COR-00121-4) 【コルデバ・アグリサイエンス日本株式会社】	隔離ほ場における栽培、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為	2025年 9月29日	—	—	—	—	—
2 線虫抵抗性及び4-ヒドロキシフェニルビルビン酸ジオキシゲナーゼ阻害型除草剤耐性ダイズ (<i>cry14Ab-1.b</i> , <i>hpdPf-4Pa</i> , <i>Glycine max</i> (L.) Merr.) (GMB151, OECD UI: BCS-GM151-6) 【BASFジャパン株式会社】	食用又は飼料用に供するための使用、加工、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為	2024年 1月17日 2025年 1月31日 2025年 9月29日	—	2022年 5月	—	2022年 9月	2022年 7月
3 除草剤グリホサート、グルホシネート、ジカンバ、トリケトン系及びプロトボルフィリノーゲン酸化酵素阻害型耐性ワタ (<i>cp4 epsps</i> , <i>pat</i> , 改変 <i>dmo</i> , <i>tdo</i> , <i>H_N90 PPO</i> , <i>Gossypium hirsutum</i> L.) (MON96012, OECD UI: MON-96012-6) 【バイエルクロップサイエンス株式会社】	隔離ほ場における栽培、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為	2025年 7月10日	—	—	—	—	—
4 プロトボルフィリノーゲン酸化酵素阻害型除草剤耐性ダイズ (<i>H_N90 PPO</i> , <i>Glycine max</i> (L.) Merr.) (MON94115, OECD UI: MON-94115-8) 【バイエルクロップサイエンス株式会社】	隔離ほ場における栽培、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為	2025年 9月29日	—	—	—	—	—
5 除草剤グルホシネート、ジカンバ、アリオオキシアルカノエート系及びトリケトン系耐性ダイズ (<i>pat</i> , 改変 <i>dmo</i> , <i>ft_t1</i> , <i>tdo</i> , <i>Glycine max</i> (L.) Merr.) (MON94313, OECD UI: MON-94313-8) 【バイエルクロップサイエンス株式会社】	食用又は飼料用に供するための使用、栽培、加工、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為	2025年 7月10日	—	不要	—	—	—
6 半矮性、除草剤グリホサート誘発性雄性不稔、除草剤グリホサート耐性及びチョウ目害虫抵抗性トウモロコシ (改変 <i>cp4 epsps</i> , <i>GA20ox_{SUP}</i> , <i>cry1A.105</i> , 改変 <i>cry2Ab2</i> , 改変 <i>vip3A</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Ittis) (MON87427×MON94804×MON89034×MIR162×NK603, OECD UI: MON-87427-7×MON-94804-4×MON-89034-3×SYN-IR162-4×MON-00603-6)並びに当該トウモロコシの分離系統に包含される組合せ (既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。) 【バイエルクロップサイエンス株式会社】	食用又は飼料用に供するための使用、栽培、加工、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為	2025年 7月10日	—	不要	—	—	—
7 半矮性、除草剤グリホサート誘発性雄性不稔、除草剤グリホサート耐性及びチョウ目及びコウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシ (改変 <i>cp4 epsps</i> , <i>GA20ox_{SUP}</i> , <i>cry1B.868</i> , 改変 <i>cry1Da</i> , 改変 <i>vip3A</i> , 改変 <i>cry3Bb1</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Ittis) (MON87427×MON94804×MON95379×MIR162×MON88017, OECD UI: MON-87427-7×MON-94804-4×MON-95379-3×SYN-IR162-4×MON-88017-3)並びに当該トウモロコシの分離系統に包含される組合せ (既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。) 【バイエルクロップサイエンス株式会社】	食用又は飼料用に供するための使用、栽培、加工、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為	2025年 7月10日	—	不要	—	—	—

注1：「承認状況」の「カルタヘナ法」欄は、第一種使用規程が承認された年を記載しており、「—」は未承認であることを示す。
また、農作物の「隔離ほ場」欄における「不要」は、国内での隔離ほ場試験による情報収集が不要と判断されたもの、スタック系統については親系統と比較し形質間の相互作用が示されていないことを確認しているものであることを示す。

注2：「承認状況」の「食品衛生法又は飼料安全法」欄は、安全性が確認された年又は所定の手続を行った年を記載しており、「—」は未確認であること、「○」は安全性が確認されたもの同士の掛け合わせであることを示す。
ただし、「—」には、花きや昆虫など、食用や飼料用に供さない場合も含まれる。

【参考】親系統の審査状況

半矮性、除草剤グリホサート誘発性雄性不稔、除草剤グリホサート耐性及びチョウ目害虫抵抗性トウモロコシ
(改変*cp4 epsps*, *GA20ox_SUP*, *cry1A.105*, 改変*cry2Ab2*, 改変*vip3A*, *Zea mays* subsp. *mays* (L.) Iltis)
(MON87427×MON94804×MON89034×MIR162×NK603, OECD UI: MON-87427-7×MON-94804-4×MON-89034-3×SYN-IR162-4×MON-00603-6)
並びに当該トウモロコシの分離系統に包含される組合せ（既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。）

名 称【申請者】			使用等の内容	承認の状況			
				カルタヘナ法		食品衛生法 又は飼料安全法	
				隔離ほ場	一般利用	食品	飼料
1	参考資料2 トウモロコシの番号 53, 79	除草剤グリホサート誘発性雄性不稔及び除草剤グリホサート耐性トウモロコシ (改変 <i>cp4 epsps</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Iltis) (MON87427, OECD UI: MON-87427-7) 【バイオクロップサイエンス株式会社】	食用又は飼料用に供するための使用、栽培、加工、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為	2010	2013	2013	2013
2	参考資料2 トウモロコシの番号 126	半矮性トウモロコシ (<i>GA20ox_SUP</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Iltis) (MON94804, OECD UI: MON-94804-4) 【バイオクロップサイエンス株式会社】	食用又は飼料用に供するための使用、栽培、加工、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為	2023	2025	2025	2025
3	参考資料2 トウモロコシの番号 25, 39	チョウ目害虫抵抗性トウモロコシ (<i>cry1A.105</i> , 改変 <i>cry2Ab2</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Iltis) (MON89034, OECD UI: MON-89034-3) 【バイオクロップサイエンス株式会社】	食用又は飼料用に供するための使用、栽培、加工、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為	2006	2008	2007	2007
4	参考資料2 トウモロコシの番号 32, 49	チョウ目害虫抵抗性トウモロコシ (改変 <i>vip3A</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Iltis) (MIR162, OECD UI: SYN-IR162-4) 【シンジェンティヤパン株式会社】	食用又は飼料用に供するための使用、栽培、加工、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為	2007	2010	2010	2010
5	参考資料2 トウモロコシの番号 5	除草剤グリホサート耐性トウモロコシ (<i>cp4 epsps</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Iltis) (NK603, OECD UI: MON-00603-6) 【バイオクロップサイエンス株式会社】	食用又は飼料用に供するための使用、栽培、加工、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為	○	2004	2001	2003

注1：「承認の状況」の「カルタヘナ法」欄は、第一種使用規程が承認された年を記載しており、「－」は未承認であることを示す。

また、「隔離ほ場」欄における「○」は、「農林水産分野等における組換え体の利用のための指針」に基づき確認されたもの、

「不要」は、国内での隔離ほ場試験による情報収集が不要と判断されたものであることを示す。

注2：「承認の状況」の「食品衛生法又は飼料安全法」欄は、安全性が確認された年又は所定の手続を行った年を記載しており、

「－」は未承認であることを示す。ただし、「－」には、花きなど、食用や飼料用に供さない場合も含まれる。

【参考】親系統の審査状況

半矮性、除草剤グリホサート誘発性雄性不稔、除草剤グリホサート耐性並びにチョウ目及びコウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシ
(改変*cp4 epsps*, *GA20ox_SUP*, *cry1B.868*, 改変*cry1Da*, 改変*vip3A*, 改変*cry3Bb1*, *Zea mays* subsp. *mays* (L.) Iltis)
(MON87427×MON94804×MON95379×MIR162×MON88017, OECD UI: MON-87427-7×MON-94804-4×MON-95379-3×SYN-IR162-4×MON-88017-3)
並びに当該トウモロコシの分離系統に包含される組合せ（既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。）

名 称【申請者】			使用等の内容	承認の状況			
				カルタヘナ法		食品衛生法 又は飼料安全法	
				隔離ほ場	一般利用	食品	飼料
1	参考資料2 トウモロコシの番号 53, 79	除草剤グリホサート誘発性雄性不稔及び除草剤グリホサート耐性トウモロコシ (改変 <i>cp4 epsps</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Iltis) (MON87427, OECD UI: MON-87427-7) 【バ [®] イェルクropp [®] サイエンス株式会社】	食用又は飼料用に供するための使用、栽培、加工、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為	2010	2013	2013	2013
2	参考資料2 トウモロコシの番号 126	半矮性トウモロコシ (<i>GA20ox_SUP</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Iltis) (MON94804, OECD UI: MON-94804-4) 【バ [®] イェルクropp [®] サイエンス株式会社】	食用又は飼料用に供するための使用、栽培、加工、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為	2023	2025	2025	2025
3	参考資料2 トウモロコシの番号 122	チョウ目害虫抵抗性トウモロコシ (<i>cry1B.868</i> , 改変 <i>cry1Da</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Iltis) (MON95379, OECD UI: MON-95379-3) 【バ [®] イェルクropp [®] サイエンス株式会社】	食用又は飼料用に供するための使用、栽培、加工、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為	不要	2022	2022	2022
4	参考資料2 トウモロコシの番号 32, 49	チョウ目害虫抵抗性トウモロコシ (改変 <i>vip3A</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Iltis) (MIR162, OECD UI: SYN-IR162-4) 【シジ [®] エンタジ [®] ャパン株式会社】	食用又は飼料用に供するための使用、栽培、加工、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為	2007	2010	2010	2010
5	参考資料2 トウモロコシの番号 19	除草剤グリホサート耐性及びコウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシ (<i>cp4 epsps</i> , <i>cry3Bb1</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Iltis) (MON88017, OECD UI: MON-88017-3) 【バ [®] イェルクropp [®] サイエンス株式会社】	食用又は飼料用に供するための使用、栽培、加工、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為	○	2006	2005	2006

注1：「承認の状況」の「カルタヘナ法」欄は、第一種使用規程が承認された年を記載しており、「－」は未承認であることを示す。

また、「隔離ほ場」欄における「○」は、「農林水産分野等における組織体の利用のための指針」に基づき確認されたもの、

「不要」は、国内での隔離ほ場試験による情報収集が不要と判断されたものであることを示す。

注2：「承認の状況」の「食品衛生法又は飼料安全法」欄は、安全性が確認された年又は所定の手続を行った年を記載しており、

「－」は未確認であることを示す。ただし、「－」には、花きなど、食用や飼料用に供さない場合も含まれる。

審査番号 1	品目の概要			
遺伝子組換え 生物の名称	チョウ目害虫抵抗性トウモロコシ <i>(ipd083Cb.1, Zea mays subsp. mays (L.) lltis)</i> (COR121, OECD UI: COR-ØØ121-4)			
申請者	コルテバ・アグリサイエンス日本株式会社			
使用等の内容	隔離ほ場における栽培、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為			
	野生動植物等の特定	影響の具体的内容	影響の生じやすさ	生物多様性影響の有無 の判断
競合における優位性	特定されず	—	—	無しと判断
有害物質の産生性	チョウ目昆虫	チョウ目昆虫に対して <i>ipd083Cb</i> 蛋白質が殺 虫活性を持つことが考 えられた	個体群レベルで影響を 受ける可能性は極めて 低いと考えられた	無しと判断
交雑性	特定されず	—	—	無しと判断
その他特記事項	○ 特になし			

審査番号 2	品目の概要			
遺伝子組換え 生物の名称	線虫抵抗性及び4-ヒドロキシフェニルピルビン酸ジオキシゲナーゼ阻害型除草剤耐性ダイズ (<i>cry14Ab-1.b</i> , <i>hppdPf-4Pa</i> , <i>Glycine max</i> (L.) Merr.) (GMB151, OECD UI: BCS-GM151-6)			
申請者	BASFジャパン株式会社			
使用等の内容	食用又は飼料用に供するための使用、加工、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為			
	野生動植物等の特定	影響の具体的内容	影響の生じやすさ	生物多様性影響の有無 の判断
競合における優位性	特定されず	—	—	無しと判断
有害物質の産生性	自由生活性線虫 及び 植物寄生性線虫	自由生活性線虫及び植物寄生性線虫に対して <i>cry14Ab-1.b</i> 蛋白質が殺虫活性を持つことが考えられた	個体群レベルとして影響を受ける可能性は低いと考えられた	無しと判断
交雑性	ツルマメ	ツルマメ集団中に <i>cry14Ab-1.b</i> 遺伝子及び <i>hppdPf-4Pa</i> 遺伝子が浸透し定着する可能性が考えられた	ツルマメに本組換えダイズの導入遺伝子が浸透する可能性は極めて低い	無しと判断
その他特記事項	○ 特になし			

審査番号 3	品目の概要			
遺伝子組換え 生物の名称	除草剤グリホサート、グルホシネート、ジカンバ、トリケトン系及びプロトポルフィリノーゲン 酸化酵素阻害型耐性ワタ (改変 <i>cp4 epsps</i> , <i>pat</i> , 改変 <i>dmo</i> , <i>tdo</i> , <i>H_{N90} PPO</i> , <i>Gossypium hirsutum</i> L.) (MON96012, OECD UI: MON-96012-6)			
申請者	バイエルクロップサイエンス株式会社			
使用等の内容	隔離ほ場における栽培、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為			
	野生動植物等の特定	影響の具体的内容	影響の生じやすさ	生物多様性影響の有無 の判断
競合における優位性	特定されず	—	—	無しと判断
有害物質の産生性	特定されず	—	—	無しと判断
交雑性	特定されず	—	—	無しと判断
その他特記事項	○ 特になし			

審査番号 4	品目の概要			
遺伝子組換え 生物の名称	プロトポルフィリノーゲン酸化酵素阻害型除草剤耐性ダイズ (<i>H_N90 PPO</i> , <i>Glycine max</i> (L.) Merr.) (MON94115, OECD UI: MON-94115-8)			
申請者	バイエルクロップサイエンス株式会社			
使用等の内容	隔離ほ場における栽培、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為			
	野生動植物等の特定	影響の具体的内容	影響の生じやすさ	生物多様性影響の有無 の判断
競合における優位性	特定されず	—	—	無しと判断
有害物質の産生性	特定されず	—	—	無しと判断
交雑性	ツルマメ	ツルマメ集団中に <i>H_N90 PPO</i> 遺伝子が浸 透し、その集団の競合 における優位性が高ま る可能性が考えられた	ツルマメに本組換えダ イズの導入遺伝子が浸 透し、優位性が高まる 可能性は極めて低い	無しと判断
その他特記事項	○ 特になし			

審査番号 5	品目の概要			
遺伝子組換え 生物の名称	除草剤グルホシネート、ジカンバ、アリルオキシアルカノエート系及びトリケトン系耐性ダイズ (<i>pat</i> , 改変 <i>dmo</i> , <i>ft_t.1</i> , <i>tdo</i> , <i>Glycine max</i> (L.) Merr.) (MON94313, OECD UI: MON-94313-8)			
申請者	バイエルクロップサイエンス株式会社			
使用等の内容	食用又は飼料用に供するための使用、栽培、加工、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為			
	野生動植物等の特定	影響の具体的内容	影響の生じやすさ	生物多様性影響の有無 の判断
競合における優位性	特定されず	—	—	無しと判断
有害物質の産生性	特定されず	—	—	無しと判断
交雑性	ツルマメ	ツルマメ集団中に <i>pat</i> 遺伝子, 改変 <i>dmo</i> 遺伝子, <i>ft_t.1</i> 遺伝子, <i>tdo</i> 遺伝子が浸透し、その集団の競合における優位性が高まる可能性が考えられた	ツルマメに本組換えダイズの導入遺伝子が浸透し、優位性が高まる可能性は極めて低い	無しと判断
その他特記事項	○ 特になし			

審査番号 6	品目の概要			
遺伝子組換え 生物の名称	半矮性、除草剤グリホサート誘発性雄性不稔、除草剤グリホサート耐性及びチョウ目害虫抵抗性トウモロコシ (改変 <i>cp4 epsps</i> , <i>GA20ox_SUP</i> , <i>cry1A.105</i> , 改変 <i>cry2Ab2</i> , 改変 <i>vip3A</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Iltis) (MON87427×MON94804×MON89034×MIR162×NK603, OECD UI: MON-87427-7×MON-94804-4×MON-89034-3×SYN-IR162-4×MON-00603-6)並びに当該トウモロコシの分離系統に包含される組合せ（既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。）			
申請者	バイエルクロップサイエンス株式会社			
使用等の内容	食用又は飼料用に供するための使用、栽培、加工、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為			
	野生動植物等の特定	影響の具体的内容	影響の生じやすさ	生物多様性影響の有無 の判断
競合における優位性	特定されず	—	—	無しと判断
有害物質の産生性	特定されず	—	—	無しと判断
交雑性	特定されず	—	—	無しと判断
その他特記事項	○ 特になし			

審査番号 7	品目の概要			
遺伝子組換え 生物の名称	半矮性、除草剤グリホサート誘発性雄性不稔、除草剤グリホサート耐性並びにチョウ目及びコウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシ (改変 <i>cp4 epsps</i> , <i>GA20ox_SUP</i> , <i>cry1B.868</i> , 改変 <i>cry1Da</i> , 改変 <i>vip3A</i> , 改変 <i>cry3Bb1</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Iltis) (MON87427×MON94804×MON95379×MIR162×MON88017, OECD UI: MON-87427-7×MON-94804-4×MON-95379-3×SYN-IR162-4×MON-88017-3)並びに当該トウモロコシの分離系統に包含される組合せ（既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。）			
申請者	バイエルクロップサイエンス株式会社			
使用等の内容	食用又は飼料用に供するための使用、栽培、加工、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為			
	野生動植物等の特定	影響の具体的内容	影響の生じやすさ	生物多様性影響の有無の判断
競合における優位性	特定されず	—	—	無しと判断
有害物質の産生性	特定されず	—	—	無しと判断
交雑性	特定されず	—	—	無しと判断
その他特記事項	○ 特になし			